



東日本大震災と私

(9/2) 作成者 H.A

↑ 日本

1. 地震当日 2011.3.11 の私の体験

地震当日、通っていた中学校の卒業式がありました。

その式で、私たち卒業生は歌を歌うため、ステージ前に並んでいました。歌が始まる直前の緊張感の中、あの大きな揺れが訪れました。

私たちはすぐにステージから離れ、大きなものが落ちてくる心配のない場所に固まりました。その中には恐怖で泣いている生徒もいました。

参観している保護者の中には子供連れの方もおり、会場になっていた体育館は混乱の海となりました。しばらく経って揺れも収まり、結局卒業式は後日へ延期されることになりました。

その夜、電気が付かない家の中で、家族で蝋燭の火を囲み、過ごしました。ラジオでは、新しい地震情報が次々と流れていました。

真夜中、実際には何時だったのかはわかりませんが、一時的に数日間、断水をするという情報が入ってきました。私たちは急いで鍋やペットボトルなどの容器を集め、水が出るうちにと大量の水をためました。

翌日、私は祖父と共に近所のスーパーマーケットへ必需品を求め、訪れました。そこには大量の人たちが集まっていました。普段のその店では見られないほどの数でした。長時間かけて私たちはやっと買い物を済ませることができました。

その日の夜、私たちが眠りにつこうとしていたとき、急に隣の部屋のテレビが点き、明るくなりました。私は跳ね起き、家中の電気を点けました。

そこでテレビを見て、私は初めて他県の津波の被害を目の当たりにしました。

2. 地震後 3 ヶ月間の私の動き

余震は長く続き、3 ヶ月経った今でも各地域で発生しています。

私は家族と避難する場合の避難場所を決め、その際即座に持って行けるように、非常食や水、毛布類などを鞆に詰め、玄関付近に置いておきました。

又、再度大きな地震によって停電、断水になったときに備え、蝋燭、懐中電灯、電池、水分を十分に蓄えておきました。

3. 今私にできること

私たちは自分自身を守り、これ以上被災者を増やさないことが重要だと思います。今、大勢の被災者は避難所などで身を寄せ合い、支援に助けられ、やっとの思いで生

活を続けています。だから、そんな人たちをこれ以上増やさないようにし、今の被災者の方々を支えていくことが大切だと思います。

1. My experience in 2011.3.11

There was the graduation ceremony of my junior high school on the day when we had the earthquake. We, the students who would graduate now, were on a stage to sing.

Then, big rolling came.

2. My movement in these three months after the earthquake

My family decided to set flashlight, blanket, water and food for the emergency in future.

3. What I can do now.

It is very important to protect oneself for everyone. And it is important not to increase the victims.

We have to assist victims together..